

第3回佐賀市排水対策基本計画検討委員会の会議結果について
令和7年4月30日に開催しました検討委員会の概要は下記のとおりです。

記

1.開催日時/場所

開催日時:令和7年4月30日(水) 15:30-17:15

開催場所:佐賀市役所 庁議室(2F)

2.委員(敬称略)

委員(敬称略)

	所属等	役職	氏名	備考
学識経験者	佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門	教授	大串浩一郎	委員長
	佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門	准教授	ウオントナーストーン ナルモン	
市民代表	佐賀市自治会協議会	会長	小城原直	
	市民公募	-	式町郁子	
	市民公募	-	小林紀	
事業関係者	佐賀県有明海漁業協同組合	専務理事	平野正人	
	佐賀市生産組合協議会	会長	久米正浩	
	佐賀土地改良区	事務局長	森信治	
行政関係者	国土交通省九州地方整備局 筑後川河川事務所	所長	塚原隆夫	代理:熊井教寿
	国土交通省九州地方整備局 佐賀河川事務所	所長	古賀満	
	佐賀県県土整備部 佐賀土木事務所	所長	満石孝司	
	佐賀県農林水産部 佐賀中部農林事務所	所長	武藤正澄	
	佐賀市	副市長	溝尾彰人	

オブザーバー

	所属等	役職	氏名	備考
	佐賀県農林水産部 農山村課	課長	江口洋久	
	佐賀県県土整備部 下水道課	課長	黒嶋欣吾	
	佐賀県県土整備部 河川砂防課	課長	中原慶太	

関係部署出席者

部署	所属	役職	氏名	備考
総務部	総務法制課	副部長 兼総務法制課長	池田武志	
農林水産部		部長	川副光行	
	農業振興課	副部長 兼農業振興課長	樫木豊	
	農村環境課	農村環境課長	武久修	
都市戦略部		部長	一丸尋史	
		副部長 (都市政策審議監)	大野和孝	
建設部		部長	江頭聖司	
		副部長 (水問題対策審議監)	江口弘行	
	北部建設事務所	所長	佐尾武広	
	南部建設事務所	所長	石丸啓介	
	上下水道局	副局長	中島俊浩	

事務局

	所属等	役職	氏名	備考
建設部	河川砂防課	課長	山口賢一	
		副課長兼 維持係長	副島英敏	
		副課長兼 水問題対策室長	田中慎司	
		主幹兼 事業係長	川村晃司	
		主査	大橋仁美	
		主任	中島篤史	
		主事	久富皓太	

3.議題

- 1) 目的とスケジュール
- 2) 第2回検討委員会の意見等
- 3) 現行対策の効果検証
- 4) 方針と目標
- 5) 考えられる対策

4.会議の公開又は非公開の別 公開

5.傍聴者数

2人(報道関係者を除く)

議事等	議事要旨
建設部長挨拶	市民主体の河川清掃活動は流域治水の理念に沿った全国に誇る取組みだと感謝している。これまでの委員会での「気候変動対応としてはまちの機能を麻痺させないことが重要」といったご意見を受け、今後は「溜める」対策の強化を図っていきたい。
議事説明	<p>【事務局より1)~5)の説明】</p> <p>1) 目的とスケジュール 2) 第2回検討委員会の意見等 3) 現行対策の効果検証 4) 方針と目標 5) 考えられる対策</p> <p>※流域対策については佐賀県、佐賀河川事務所より説明</p>
質疑応答 現行対策の効果検証	<p>委員長) 中期対策の後期後、長期対策では浸水面積はあまり減らないようだが、長期対策は必要だという認識でよいか。</p> <p>事務局) 今後の対策は、一概に浸水面積の低減だけで効果を表現するのは難しいが、確実に効果はあり、今後進めて行く必要性のある事業である。対策の効果として、浸水時間の短縮など新たな評価指標を検討していく。</p> <p>委員長) これまでの対策効果については数値で表していただいたので、佐賀市としてアピールしていいのでは。</p>
方針と目標	<p>委員長) 現計画の目標は定量的であるが、新計画として追加する気候変動対応では数値目標は難しいのか。</p> <p>事務局) 超過降雨の場合、潮位や降雨波形などの影響も大きく、一概にピーク雨量だけでは表現できないと判断している。山間部や平野部など雨の降る場所にもよるため、現状では単純な数値目標設定が難しく、定性的な表現にならざるを得ない。</p> <p>満石委員) 気候変動対応のプラスα対策は都市機能誘導区域に限定するのか。そうであれば、例えば、嘉瀬川右岸地区での貯留対策とは矛盾するのでは。</p> <p>事務局) プラスα対策をすることで現行計画の更なる強化も図っていくこととしている。</p> <p>委員長) プラスα対策が都市機能誘導区域だけに限定しているような誤解を与えるのでその点を修正いただきたい。</p> <p>事務局) 目標の表現については内部で再度検討し、委員長と協議の上で後日委員の皆様へ回答させていただきたい。</p> <p>武藤委員) 気候変動対応で定量的目標設定が難しいことについては理解するが、「浸水時間を○時間減らす」といった検討では、何らかの降雨量の設定は必要ではないか。</p> <p>事務局) 数値設定の検討では降雨量や降雨波形は定量的な設定を行う。</p>
考えられる対策	<p>森委員) 今後「溜める」対策を進めて行くことは当然と思う。校庭については小中学校だけでなく佐賀駅周辺の高校にも取組を拡大すると効果があるのでは。その他、市内の要所排水路周辺の学校のグラウンドを掘り下げて貯留に活用するとよいと思う。</p> <p>事務局) 掘り下げる案の他に、小段(壁)を作って周辺を囲い溜める案も考えていく。</p> <p>小城原委員) 学校のグラウンドの利用を考えると、表面に貯留すると苦情がでるのでは。水路の浚渫や水草対策を推進してほしい。</p> <p>事務局) グラウンドの貯留は各学校の実態に応じて溜めるタイミングや復旧についても考えていく。水路の浚渫や水草対策については、現状把握を行い引き続き進めていきたい。</p>

	<p>委員長) 国からの説明にあった考えられる対策3について、国道34号で分断するのはまずいのではないか。</p> <p>古賀委員) この解析は、この場所でこの対策を実施するという意味ではなく、国道34号付近に仮に高盛土を設置し流れを止めた場合、佐賀駅周辺にどのような効果があるかを示したもの。この対策を実施する場合、当然、上流側の浸水を助長しないよう雨水を嘉瀬川等の周辺の河川へ東西に「逃がす」対策も必要であり、そのような対策についても今後検討を進めて行く必要がある。</p>
<p>まとめ</p>	<p>委員長) 新計画の方針については了承ということで決定する。目標については、一部修正が必要であるが、現計画と気候変動対応の2段階の目標設定で良いということで進める。</p>

佐賀市排水対策基本計画検討委員会 委員名簿

※50 音順・敬称略

	委員名	所属等
1	ウォンタナーストーン ナルモン	佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門 准教授
2	おおぐし こういちろう 大串 浩一郎	佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門 教授
3	おぎはら すなお 小城原 直	佐賀市自治会協議会 会長
4	くめ まさひろ 久米 正浩	佐賀市生産組合協議会 会長
5	こが みつる 古賀 満	国土交通省 佐賀河川事務所 所長
6	こばやし みち 小林 紀	市民代表
7	しまち いくこ 式町 郁子	市民代表
8	つかほら たかお 塚原 隆夫	国土交通省 筑後川河川事務所 所長
9	ひらの まさと 平野 正人	佐賀県有明海漁業協同組合 専務理事
10	みぞお あきと 溝尾 彰人	佐賀市 副市長
11	みつし たかし 満石 孝司	佐賀県 県土整備部 佐賀土木事務所 所長
12	むとう まさ澄 武藤 正澄	佐賀県 農林水産部 佐賀中部農林事務所 所長
13	もり しんじ 森 信治	佐賀土地改良区 事務局長

	オブザーバー	所属等
1	えぐち ひろひさ 江口 洋久	佐賀県 農林水産部 農山村課 課長
2	くろしま きんご 黒嶋 欣吾	佐賀県 県土整備部 下水道課 課長
3	なかほら けいた 中原 慶太	佐賀県 県土整備部 河川砂防課 課長

佐賀市排水対策基本計画検討委員会 事務局側名簿

所 属 ・ 役 職		氏 名	備 考
佐賀市	総務部 部長	たけとみ まさゆき 武 富 将志	
〃	〃 副部長兼総務法制課長	いけだ たけし 池田 武志	
〃	農林水産部 部長	かわそえ みつゆき 川 副 光行	
〃	〃 副部長兼農業振興課長	もみき ゆたか 樫木 豊	
〃	〃 農村環境課長	たけひさ おさむ 武久 修	
〃	都市戦略部 部長	いちまる ひろし 一丸 尋史	
〃	〃 副部長(都市政策審議監)	おおの かずたか 大野 和孝	
〃	建設部 部長	えがしら せいじ 江頭 聖司	
〃	〃 副部長(水問題対策審議監)	えぐち ひろゆき 江口 弘行	
〃	〃 副理事兼北部建設事務所長	さお たけひろ 佐尾 武広	
〃	〃 副理事兼南部建設事務所長	いしまる けいすけ 石丸 啓介	
〃	上下水道局 副局長	なかしま としひろ 中島 俊浩	
〃	建設部 河川砂防課 課長	やまぐち けんいち 山口 賢一	事務局
〃	〃 副課長兼維持係長	そえじま ひでとし 副島 英敏	事務局
〃	〃 副課長兼水問題対策室長	たなか しんじ 田中 慎司	事務局
〃	〃 主幹兼事業係長	かわむら こうじ 川村 晃司	事務局
コンサル タント	パシフィックコンサルタンツ株式会社 佐賀事務所		